

大栄西瓜産地強化プラン「もうける西瓜作りをめざして」

事業実施主体名	大栄西瓜組合協議会		住所	北栄町
プラン認定日	平成19年12月14日	プラン期間	平成19年～平成21年	

1 プラン内容

(1) 概要

トンネル栽培からハウス栽培主体の経営に転換して所得を確保し、西瓜産地の復興を目指す。

(2) 取り組みポイント

- 高齢化対策として、露地栽培主体からハウス主体の経営に転換
- 鳥取産のシェア率が高く、有利販売が可能な6月出荷量50%以上を確保。

(3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H19	パイプハウス (117.42a)	44,438	14,812	7,407
H20	パイプハウス (203.398a)	89,690	29,896	14,949
H21	パイプハウス (203.438a)	89,186	29,728	14,865
合 計		223,314	74,436	37,221

2 プラン実施状況

(1) 労働力、経営内容

	認 定 時	現 状
労働力(雇用)	H20栽培戸数：280戸	H23栽培戸数：270戸
経営内容・規模	H20ハウスの面積：80ha	H23ハウスの面積：86ha

(2) 成果

・プラン目標に対する実績

① 大栄西瓜産地強化プラン

内 容	H 2 1 目 標	H 2 2 実 績
作付面積	1 9 0 h a	1 9 0 h a
販売金額	1 8 億円	1 8 億円
単価	1, 3 0 0 円／玉	1, 5 3 5 円／玉
1 0 a 販売額	9 5 0 千円	1, 0 2 8 千円
1 0 a 収量	7 3 0 玉	6 7 0 玉

② 大栄西瓜スーパーブランド化プラン

内 容	H 2 3 目 標	H 2 3 実 績
作付面積	1 9 0 h a	1 8 6 h a
販売金額	1 8 億円	1 8 億円
単価	1, 3 5 0 円／玉	1, 6 2 5 円／玉
1 0 a 販売額	9 4 7 千円	1, 0 7 4 千円
1 0 a 収量	7 0 0 玉	6 6 1 玉

・経営改善の実績

- ① ハウスの導入により各農家の作型の前進化を図り、労力分散を図ることができ、また、異常気象の影響を受けにくくなったため、安定生産につながった。
- ② 産地全体としても6月出荷率を高め、市場への集中出荷を避けることができ、単価安定につながった。

・更なる経営発展方向

- ① 産地全体の面積減少をくい止めるため、農の雇用事業等を活用し雇用労力を導入し、1戸当たりの規模拡大等を図る必要がある。
- ② ハウスから露地トンネルへの切り替えに伴う6月下旬から7月上旬の出荷量の安定を図り、市場評価をさらに高める必要がある。

[中部総合事務所農林局]